

## 臨床研究に関する情報公開（一般向け）

### 「酸化マグネシウム製剤処方患者における血清マグネシウム値の検査実態及び高マグネシウム血症発症に対する危険因子の探索」へご協力をお願い

—2015年10月1日～2017年4月31日までに当院において酸化マグネシウム製剤が処方された方へ—

研究機関名：三重大学医学部附属病院 薬剤部  
研究責任者：三重大学医学部附属病院 薬剤部 教授兼薬剤部長 奥田 真弘  
研究分担者：三重大学医学部附属病院 薬剤部 准教授兼副薬剤部長 岩本 卓也  
三重大学医学部附属病院 薬剤部 助教 池村 健治  
三重大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任 杉本 浩子  
三重大学医学部附属病院 薬剤部 若井 恵里

#### 1. 研究の概要

- 1) 研究の意義：制酸剤である酸化マグネシウム製剤は、副作用である高マグネシウム血症が問題視され、長期投与又は高齢の方へ使用する場合には血清マグネシウム値を測定するよう注意喚起が図られている。本研究では、高マグネシウム血症の危険因子を明らかにし、高マグネシウム血症の早期発見のため、酸化マグネシウム製剤の適正使用に対して薬剤師が介入する必要がある。
- 2) 研究の目的：酸化マグネシウム製剤の適正使用に繋がるエビデンスの構築

#### 2. 研究の方法

- 1) 研究対象者：当院で酸化マグネシウム製剤（マグミット®錠）が処方された患者
- 2) 研究期間：2017年6月23日～2017年12月31日
- 3) 研究方法：血清マグネシウム値の検査実施率と高マグネシウム血症発症に対する危険因子についてカルテ情報を基に調査する。
- 4) 使用する試料の項目
- 5) 使用する情報の項目：年齢、性別、身長、体重、体表面積、尿素窒素値、eGFR、酸化マグネシウム製剤の1日投与量、併用薬等
- 6) 情報の保存
- 7) 情報の保護
- 8) 研究計画書および個人情報の開示について、あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究

対象としないので、2017年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

所属 氏名：三重大学医学部附属病院 薬剤部 若井 恵里

電話：059-232-1111（平日：9時30分～17時00分）

ファックス：059-232-1201